

1. 概要

平成 30 年 12 月 1 日交付の公益財団法人が発足し、認定 NPO 法人長野県みらい基金の解散（平成 31 年 3 月 31 日）後の正式活動開始であり、ある意味待機期間であった。

2. 事業報告：

A) 寄付募集助成事業（助成事業）の実施：

- 助成事業は準備期間のため不実施。
- 税額控除を受けるための寄付募集（税制控除を受けられなくても了承分）を実施

B) 財団への助成金による財団運営

① 助成事業：

- 資金調達事業の実施
  - （公財）日本財団のこどもサポートプロジェクト、第三の居場所の助成受託活動
- スタッフの研修
  - 全国コミュニティ財団協会関東甲信越ブロック研修会の参加  
プログラムディレクター＋プログラムオフィサー研修  
案件形成研修（アメリカのコミュニティ財団に学ぶ）
- 休眠預金の情報収集

② 将来世代応援県民会議官民協働事務局運営事業：〔100 万円〕

- 県民会議より受託
- 県内 NPO 等の情報収集
  - 県内 NPO 等への情報発信
  - 会議ウェブサイトの更新
  - 事務局運営

③ 日本財団「海と日本プロジェクト」事業：〔700 万円〕

- 県内環境 NPO 支援
- 環境教育プログラム開発

C) 調査研究

- ① 寄付の税制優遇措置の申請
- ② 国内外のコミュニティー財団や、コミュニティー財団の支援機関との連携、情報共有、協働での事業実施
- ③ 遺贈寄付の研究

以上

## 2019 年度・事業報告書

### 1. 概要

- 認定 NPO 法人長野県みらい基金から公益財団法人へ移行し、事業継承を行った。
- 長野県より貸与されている公共的活動支援サイト「長野県みらいベース」を県予算でリニューアルし、よりセキュリティの高い寄付募集のクラウドファンディングシステムを構築できた。
- 日本財団「第三の居場所」事業、県内 4 拠点の助成と伴走支援事業を開始できた。
- 休眠預金活用における資金分配団体に決定し、3 年間 1 億円の資金を獲得できた。
- 災害支援のスピード感ある寄付募集基金を立ち上げることができた。

### 2. 事業報告

- 寄付募集事業（助成事業）の実施
  - ① 事業指定プログラム（地域団体の活動必要資金）
    - 総額：5,049,642 円
  - ② 冠助成事業：（特定寄付者、特定対象分野助成）  
安心社会づくり助成金 ろうきんこども基金（長野県労働金庫様）  
真田こども応援基金 JAM 甲信・ハート基金 富士電機労組
    - 総額：6,826,000 円
  - ③ マンスリー寄付
    - 総額：466,800 円（2019 年 1 月～2020 年 3 月）
  - ④ 長野県台風 19 号災害支援基金・助成金
    - 2019 年 10 月 15 日に基金立ち上げ、寄付募集開始
    - 2019 年 11 月 15 日（金） 第一回台風 19 号災害支援助成金公募
    - 2019 年 11 月 29 日（月） 14 団体からの申請
    - 2019 年 12 月 16 日（月） 7 団体へ助成金交付
  - ⑤ 地域分野指定寄付金
    - 総額：229,694 円
  - ⑥ JA 子ども食堂
    - 総額：1,356,677 円

● 助成金等による事業

① 日本財団助成事業

日本財団のこどもサポートプロジェクト、第三の居場所の助成受託

- 長野市、御代田町、諏訪市、松川町県内4地域のこどもの居場所への助成
- それぞれの組織基盤強化・伴走支援

\*日本財団報告書参照

② 将来世代応援県民会議官民協働事務局運営事業 県民会議より受託

- 信州こどもカフェMAP作成
- 県内NPO等の情報収集及び発信

③ 県次世代サポート課より委託業務

- 信州こどもカフェ推進地域プラットフォーム活動報告会

④ 日本財団「海と日本プロジェクト」事業

- 県内環境NPO支援(NPO法人天竜ゆめ会議)
- 海と日本プロジェクト in 長野

信州の森から海へ～天竜川調査隊～(環境教育プログラム開発)

⑤ 日本民間公益活動連携機構(JANPIA)より休眠預金活用法における資金分配団体として助成事業

- 2019年11月 資金分配団体内定決定
- 12月2日 記者発表、公募開始
- 12月9日～13日 公募説明会(長野 佐久 飯田 松本)
- 12月23日～26日 個別相談会(松本)
- 1月8日～15日 個別相談会(松本)計40団体
- 1月24日 実行団体公募締め切り
- 1月28日～2月5日 20団体ヒアリング
- 2月27日 審査会、書面理事会
- 3月3日 発表
- 3月9日 スタートアップ研修
- 3月31日 契約終了 助成開始

● 調査研究、申請等

① 寄付案件

- フリースクール「こどもサポートチームすわ：土地建物寄付案件調査
- 国税 県税 市税担当との折衝
- みなし譲渡課税調査
- 理事会にて検討

以上

## 2020 年度・事業報告書

### 1. 概要

- 公益財団法人長野県みらい基金 2 年目として継続する助成事業を確実に実施した。
- みらいベースに「コロナに負けない信州応援基金」を設置し、助成事業を実施できた。
- 日本財団「第三の居場所」事業、県内 4 拠点の助成と伴走支援事業が 2 年目を迎えた。
- 昨年に引き続き、休眠預金活用における資金分配団体に決定し、3 年間 4000 万円の資金及び緊急助成として 1 年間 7000 万円の資金獲得ができた。

### 2. 事業報告

- 寄付募集事業（助成事業）の実施
  - ① 事業指定プログラム（地域団体の活動必要資金）
    - 総額：4,735,348 円
  - ② 冠助成事業：（特定寄付者、特定対象分野助成）  
安心社会づくり助成金 ろうきんこども基金（長野県労働金庫）  
真田子ども応援基金 JAM 甲信・ハート基金 富士電機労組
    - 総額：5,691,575 円
  - ③ マンスリー寄付
    - 総額：258,500 円
  - ④ 地域分野指定寄付金
    - ・総額：27,611 円
  - ⑤ JA 子ども食堂
    - ・総額：927,510 円
  - ⑥ コロナに負けない信州応援基金（県補助金含む）
    - ・総額：10,000,000 円
- 助成金等による事業
  - ① 日本財団助成事業  
日本財団のこどもサポートプロジェクト、第三の居場所の助成受託
    - 長野市、御代田町、諏訪市、松川町県内 4 地域のこどもの居場所への助成
    - それぞれの組織基盤強化・伴走支援
      - \* 日本財団報告書参照
  - ② 日本財団「海と日本プロジェクト」事業]
    - 海と日本プロジェクト in 長野
      - 海の森が育んだ信州海ごはん

③日本民間公益活動連携機構（JANPIA）より休眠預金活用法における資金分配団体として助成事業

(1) 2019 年度通常枠助成

- ・2020 年 4 月より県内 7 事業開始
- ・小海町：（一社）ふれジョブ長野支部  
「生きづらさのある市民の居場所づくり」
- ・茅野市：（特非）ふくろう SUWA  
「働きづらさ解消に向けた支援事業」
- ・伊那市：（特非）子ども・若者サポートはみんぐ  
「子どもの居場所とネットワーク推進事業」
- ・飯田市：（特非）いいだ人形劇センター  
「人形たちとつくるコミュニティスポット」
- ・安曇野市：（特非）Gland・Riche  
「地域巻き込み型共生社会の実現！」
- ・長野市：（特非）IT サポート銀のかささぎ  
「ICT 学習支援官民協働事業」
- ・長野市：（認特非）フードバンク信州  
「食の循環システム構築事業」

(2) 2020 年度コロナ緊急助成（単年度）

- ・第一期助成（10 団体）  
2020 年 11 月～
- ・第二期助成（10 団体）  
2021 年 3 月～

(3) 2021 年度通常枠甲信地域コンソーシアムによる助成

- ・事業実施：2021/04～
- ・山梨県 3 団体  
（南アルプス市 ボンドプレイス 富士川町 スペースふう  
韮崎市 河原部社）
- ・長野県 2 団体
- ・富士見町：特定非営利活動法人 こどもの未来をかんがえる会  
（コンソーシアム）  
「富士見・八ヶ岳山麓地域の未来のまちづくり・ラボ実現 プロジェクト」
- ・上田市：地域活性化工房 杜の風舎  
「別所温泉 里山アグロフォレストリープロジェクト」

- 調査研究、申請等
  - ① 遺贈案件 3 件
    - 相続人、司法書士との調整

以上